



北斗句会

令和五年八月定例会(二日)

五十音順 特選は特選 石田きよし選

タクマラカン熱砂の果てに入日かな 大崎石州

朝夕の風に初秋の気配かな 太田黒幸風

滲むごと闇を薄むる祭舟 大森康正

犬吠の海霧の消え去り鳴かな 川崎きこう

特 妻の手に匙握らせて夏氷 竹内雲泉

特 百日紅この一年に逝きし魂 田中資凡

兄の手の強き記憶や夜店の灯 長池豆陽

特 夏料理港横浜十五階 藤田紀潮



ちよつとした勇気をとこの黒日傘 石田きよし